

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-56	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
明治 117	現国 711	精選 現代の国語		

### 1. 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「2. 対照表」に示した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。  
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。  
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「現代の国語」は、「他者と出会い、自己を知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自己の存在を見つめ直しながら、自分の考えを持つ」というゴールを目指せるようにした。  
最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言葉』を見つける」ことを目指している。

### 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 ことば・思考 3 芸術・文化	豊かな情操を養う、という観点から読書や芸術鑑賞を促す働きかけを設け、多様な表現を知る助けとなるように工夫した。(第1号)	9頁～22頁、 43頁～66頁
2 自己・他者 4 情報・メディア 5 哲学・思想	個人の価値を尊重するために自他を知り、情報社会における職業及び生活との関連を重視するという観点から、活動を設けた。(第2号)	23頁～42頁、 67頁～90頁、 91頁～114頁
7 経済・社会 8 世界・平和	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う、という観点から、それらにつながる事柄について自ら考え、意見を述べるという活動を設けた。(第3号)	145頁～168頁、 169頁～188頁
6 環境・自然・生命	生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う、という観点から活動を設けた。(第4号)	115頁～144頁

9 言語・歴史	我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、日本人としての自覚を持ちながら世界の中の日本を考え、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う、という観点から活動を設けた。(第5号)	189頁～212頁
<b>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b>		

# 編 修 趣 意 書

## (学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-56	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
明治 117	現国 711	精選 現代の国語		

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

#### 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。  
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。  
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「現代の国語」は、「他者と出会い、自己を知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自己の存在を見つめ直しながら、自分の考えを持つ」というゴールを目指せるようにした。最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言葉』を見つける」ことを目指している。

#### 単元の構成

- 単元の構成は、領域別、テーマ別とした。
- 単元の配列に当たっては、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の各領域を、生徒の興味喚起と学習到達度を考慮して、発展的、系統的に学習できるように配列した。
- 教材は、「現代の国語」が、中学校三年間の国語学習の延長上にあり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るという見地から、教材選択に当たっては、読解に困難を伴うもの、語句・表現の理解に抵抗の多い教材はできるだけ避けるよう配慮した。論理的な文章については、論理的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高めるために、獲得すべき価値を多く有しているものを人文・自然の両面にわたり幅広く、調和的に選んだ。実用的な文章については、生徒の生活感覚に近いもので実社会に必要と考えられるものを、論理的な文章との関係において適宜配置した。

#### 〔知識及び技能〕

- 「深い学びのために」の主に「言葉と表現」で、言葉の特徴や使い方に関する問題を設けた。
- 情報の扱い方に関して、「単元の言語活動」の要点や図解に入れ込み、言語活動を通して具体的に理解し、定着を図るよう工夫した。
- 各単元の末尾に、論理的な文章に関連した「読書のすすめ」を掲げ、読書の意義と効用について理解を深める助けとした。
- 論理的な文章の末尾に「漢字の整理」、付録に「常用漢字表」を設け、「言語文化」の指導との関連も図りながら、常用漢字の学習に資するようにした。

#### 〔思考力・判断力・表現力等〕

- 「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」については、「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で、学習指導要領に示された「言語活動例」に即して、「2. 対照表」に示した実践的な活動を設けた。その際、〔知識及び技能〕との関連を図れるよう配慮した。
- 言語活動は、年間を通じて系統的に学習効果が高められるよう配慮した。各教材での言語活動は具体的に指導できるようにし、単元のまとめである「単元の言語活動」では、単元内の全ての教材で学んだことを活用した課題を設定した。さらに、「単元の言語活動」での学習過程を、同じ領域の次の単元でも繰り返す、自ら改善することで、それらの能力の習熟向上を図った。また、言語活動ではグループ活動やクラスメートとの相互評価等の、対話を使った活動を積極的に設けた。
- また、「言語活動」を踏まえ「国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力」を最大限に生かした生徒の多様な課題に対する意識づけをする目的で、「探究活動」を設けた。
- 「話すこと・聞くことの窓」「書くことの窓」や図版を設け、活動の助けとした。

#### 〔学びに向かう力・人間性等〕

##### 「学ぶに向かう力—自ら学び続ける工夫」

- 1) たしかに学ぶ
  - 「領域別教材一覧」を設け、何をどのように学ぶのか、どんな力が身につくのかを明示した。見通しをもった学習計画づくりに資する。
  - 「単元扉」では、単元のねらいだけでなく、領域ごとの段階的な学びを示した。この単元の言語活動はどのような観点で取り組むのかを指導者と生徒が共有できるように工夫した。
  - 以上2点は、学習を見通すだけでなく、学習を振り返る際にも役立つものである。
- 2) 学びを深める
  - 「単元の言語活動」は、PDCAを基本として展開している。目標の提示から評価までの過程を具体的に示すとともに、指導の重点を下段で明示している。
- 3) 知識・技能を生かす
  - 「話すこと・聞くことの窓」「書くことの窓」は総論から各論へ展開している。学習活動を進めるうえで必要になる知識・技能に対する理解を助け、言語活動で生かせるようにした。

以上の〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力・人間性等〕を支援することにより、現代社会を生きるために必要な資質・能力を確実に育成できる教科書である。

## 2. 対照表

図書の内容		学習指導要領の内容								該当箇所	配当時間						
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			内容の取扱い			A	B	C				
		(1)・(2)	(3)		A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	(2)	(3)					(4)ウ			
図版 『生命誌絵巻』『クオ・ヴァデイス』『観光ボスター』『電車マナー啓発ボスター』	(1) (2)										見返し1～3						
1 ことば・思考	自分の時間で読み継ぐ	(1) (2)	ア ウ	ア			ア	ア	イ	ウ	カ	P. 10～14, 22			2		
	「ふと」と「思わず」	(1) (2)	ウ エ	ア			ア	ア	イ	ア	ク	P. 15～20, 22			2		
	「論理的な文章を読み批評しよう」	(1) (2)	イ				イ					P. 20～21			2		
2 自己・他者	わかりあえないことから	(1) (2)	ア ウ エ	ア	イ			ア	イ		カ キ	P. 24～29, 42	2				
	自他のあいだの(間)	(1) (2)	ア ウ	ア	ウ	エ		ア	イ	ウ	カ キ	P. 30～35, 42	2				
	「相手の理解が得られるように表現を工夫しよう」	(1) (2)	イ		ウ	イ			ア			P. 36～41	2				
3 芸術・文化	上手い、おもしろい	(1) (2)	ウ エ	ア		ウ		ア	イ	ア	イ	ウ	P. 44～51, 66		2		
	美意識は資源である	(1) (2)	ウ エ オ	ア		ア	イ	ア	イ	ウ	キ	ク	P. 52～60, 66		2		
	「自分の意見を書こう」	(1) (2)				ウ		ア					P. 61～65		2		
4 情報・メディア	未来を予測する方法	(1) (2)	ウ	ア			ア	ア	イ	エ	オ	キ	P. 68～75, 90			2	
	ビッグデータと人工知能	(1) (2)	ウ エ	ア			ア	ア	イ	エ	オ	キ	P. 76～85, 90			2	
	「他の形式に書きかえよう」	(1) (2)	オ				イ						P. 86～89			4	
5 哲学・思想	働くことの意味	(1) (2)	ア ウ	ア	イ			ア	イ	イ	カ	P. 92～99, 114	2				
	坐の象徴論	(1) (2)	ウ エ	ア	ア	エ		ア	イ	イ	カ	P. 100～107, 114	2				
	「集めた情報をまとめ発表しよう」	(1) (2)	イ			エ			ア			P. 108～113	4				
6 環境・自然・生命	生命誌からのメッセージ	(1) (2)	ア ウ	ア		ア		ア	イ	エ	オ	キ	P. 116～122, 144		2		
	人と動物、共存の場所	(1) (2)	ウ エ	ア		イ		ア	イ	エ	オ	カ	キ	P. 123～131, 144		2	
	時間をめぐる衝突	(1) (2)	ウ	ア		イ	ウ	ア	イ	ウ	カ	キ	ク	P. 132～136, 144		2	
	「意見文を書こう」	(1) (2)		カ			エ						P. 137～143		2		
7 経済・社会	マルジャーナの知恵	(1) (2)	ウ	ア		イ		ア	イ		カ	キ	P. 146～152, 168		2		
	現代社会はどこに向かうか	(1) (2)	ア ウ	ア		ウ		ア	イ	エ	オ	キ	P. 153～160, 168		2		
	「説明資料にまとめよう」	(1) (2)	オ			イ	ウ						P. 161～167		4		
8 世界・平和	世界中がハンバーガー	(1) (2)	ウ エ オ	ア		エ	オ	ア	イ	イ	ウ	ク	P. 170～176, 188	3			
	対話する社会へ	(1) (2)	ウ エ	ア	イ	エ		ア	イ	ウ	ク	P. 177～183, 188	3				
	「話し合いのしかたや結論の出し方を工夫しよう」	(1) (2)	イ			オ			ア			P. 184～187	4				
9 言語・歴史	〈普通語〉とは何か	(1) (2)	ウ	ア		ウ	エ	ア	イ	イ	ウ	ク	P. 190～196, 212		3		
	漢文脈と近代日本	(1) (2)	ア	イ	ウ	ア	イ	エ	ア	イ	ア	ク	P. 197～203, 212		3		
	「紹介文を書こう」	(1) (2)	オ			イ						P. 204～211		4			
付録	日本文学史年表	(1) (2)										P. 214～222					
	参考図録	(1) (2)				ウ						P. 223～224					
	常用漢字表 常用漢字表 付表	(1) (2)	ウ					ア	イ			P. 225～239					
	高等学校で学習する音訓一覧	(1) (2)	ウ					ア	イ			P. 240					
会議の原理	(1) (2)	イ			オ						見返し4～5						
											領域別計	24	32	14			
											計	70					